

## 平成21年度第1回新宿区新中央図書館等基本計画策定委員会要旨

### 1 出席者について

(策定委員会委員)

糸賀雅児委員、清水義次委員、深澤良彰委員、野末俊比古委員、中村廣子委員、新田満夫委員、持谷寿夫委員、山口春代委員、神崎健也委員、百足山昌子委員、森美樹子委員、猿橋敏雄委員(総合政策部長)、小柳俊彦委員(教育委員会事務局次長)、野田勉委員(中央図書館長) 以上14名

(区側)

中山弘子区長、石崎洋子教育長

(関係所轄担当課長)

橋口区政情報課長、藤牧企画政策課長、木内行政管理課長、赤堀情報政策課長、木全総務課長、山下施設課長、山田文化観光国際課長、佐藤景観と地区計画課長、竹若教育政策課長 以上9名

(事務局)

松田新図書館・学校情報化推進担当副参事、田辺中央図書館管理係主査、羽山企画政策課主任主事 以上3名

### 2 場所

新宿区役所5階 大会議室

### 3 実施日時

平成21年9月10日(木) 午後2時から午後4時まで

### 4 開会

#### 【事務局】

- ・委嘱状の交付(区長から)
- ・各委員自己紹介
- ・各担当自己紹介

#### 【区長挨拶】

この新中央図書館は、区民の方々にとって新時代を子どもから大人まで、生き抜いていくための大きな力になる施設であり、確かな情報が得られる図書館であって欲しいと思っている。建設場所は、第1次実行計画で旧戸山中学校の跡地ということでお示ししており、昨年6月に開業した東京メトロ副都心線の西早稲田駅に徒歩2分程度でアクセスできる、大変便のよい場所である。

また、区のちょうど中心的な位置にもあり、文教地区といえるような場所にある。こうした特色を活かした新しい図書館の在り方についても議論をいただき、新時代にあう図書館を共に考えていきたい。

#### 【 会長等の選出 】

この後、会長、副会長の選出作業に移る。委員の互選により深澤委員が会長に、野末委員が副会長に選出。会長、副会長が選出されたところで、区長による諮問を会長宛に行い、委員会議事が開始される。

#### 【 諮問について 】

新宿区新中央図書館等基本計画策定委員会 会長様  
新宿区新中央図書館等基本計画策定委員会設置要綱第2条に基づき、下記のとおり諮問いたします。

#### 記

- 1 新中央図書館等の機能と役割に関すること
- 2 インターネットや映像などの情報媒体、コミック、行政資料に対応したメディアセンター機能のあり方に関すること
- 3 その他、新中央図書館等に関すること

平成21年9月10日

新宿区長 中山 弘子  
新宿区教育委員会

#### 【 事務局 】

委員会の運営について説明。

当委員会は、新宿区の第1次実行計画（平成20年1月）に基づき、「平成21年度に専門家と区民による検討組織を設置し、22年度に一定の方向性をまとめます。」とある検討組織の位置づけである。当委員会では諮問事項について審議をし、その結果を「新中央図書館等の基本計画（案）」という形で、最終的に報告書として提出していただく。スケジュールについては、平成22年10月の基本計画策定を目指して、今年度、来年度と審議をお願いする。

また、区民・利用者の方々の意向などの確認のため、今月中に新宿区全10図書館での来館者へのアンケート調査、加えて無作為抽出3,000名の区民の方々から郵送アンケート調査を実施する。10月から、「新しい図書館を考えるつどい」というワークショップ

形式の会議を開催し、当委員会以外の利用者からも意見を伺う。

【 委員 】

区長からの諮問文のうち、「インターネットや映像」はともかく、コミックや行政資料にも対応したメディアセンター機能、そもそもこれは、コンセプトの中に反映されているのかが不明。今日でなくて構わないので、説明をお願いしたい。

それから、中央図書館と、区の全体を含めた地域館のあり方について（他の委員から「区内の国際交流基金の図書館など、他施設について地域の図書館との関連性とか、相互協力の内容についてはどのようになっているか」との質疑もあり）どのように考えているかお伺いしたい。

【 事務局 】

コミックや行政資料について、コンセプトにどう取り込んでいくかについては、今後、アンケート調査などでその需要などを聞き、それを分析して足し込んでいく方向で検討したいと思っている。また、行政資料については庁内でも、担当課を含め別途検討中である。

地域館との関係については、中央館で特に担っていけるものを具体的に考えていければと思っている。

コンセプトの具現化の一つとして、アンケート調査（来館者・郵送）を今後実施する。

【 委員 】

アンケート調査の実施について

（アンケート調査の実施について）新しいものをこちらから打ちだそうとしていくとき、アンケートの調査がどこまで反映されるか疑問である。更に、新しい図書館でどういう職員が働いて、どのようなサービスができるのかという人材育成の視点が必ず必要ではないか。

その他、アンケートについては例えば昼間人口が多い新宿区で、対象になる人からのインタビューが必要ではないかとの意見あり。

アンケート回答分析についても、表面的なものではなく、潜在的な要素を分析するような方法をお願いしたい。（例：図書館施設で、アイスクリーム屋が欲しいという意見が多数あった。→アイスクリーム屋を設置するのではなく、人的つながり、会話スペースを望んでいるのが潜在的な要素である といった分析。）

【 事務局 】

アンケート調査では把握しづらい意見については、直接のインタビュー形式の「ヒアリング調査」を実施し、様々な層からの意見が聴取できるようにしたい。

今回委員からいただいた意見は、できるだけアンケート調査に反映させたい。アンケート調査・ヒアリング調査を通じ、利用者の意向などを分析してコンセプトに落とし込むようにしたい。

人材育成については、例えば区では、平成 20 年度に悉皆研修としたレファレンス研修や毎年司書講習に希望図書館職員を派遣するなどの取り組みを実施している。効果的な人材

育成などは、今後の委員会の議論などから、より良い人材育成につながる仕組みづくりを考えていければと思う。

委員会の他自治体の図書館の見学について

【 事務局 】

提案として委員に、新中央図書館のイメージを持ってもらう趣旨で他の自治体図書館の見学を行いたいと考えている。東京近接地域での見学を想定している。

【 委員 】

千代田区立図書館の声がでるが、規模が小さいのではという意見もあり。

北区、豊島区、さいたま市、川口市などの図書館が、新宿のこれからつくる図書館と似ているのではないかとの意見でまとまる。

【 事務局 】

先方との日程調整を行い、10月を目途に見学会を実施することにする。詳細は追って、通知する。

(了)